

# 提携米通信

2020年9月号・黒瀬農舎

最後の草取りに悪戦苦闘中。新米出荷は10月の予定です。



8月24日から最後の草取り作業を始めました。酷暑の中、パートの女性の皆さんは大張り切りで、感謝！感謝です。この写真では見え難いですが凄いヒエです 2020.8.29

「集中豪雨の次には、日本列島は猛暑が襲うだろう」との予想は的中して、8月の最高気温の記録が各地で更新されたようです。

しかし、当地・秋田は適度に雨も降り、人間にとっても、作物にとっても、好天傾向で経過しました。

このお陰で、イネは例年以上に豊作型の様子です。

いま日ごとに稲穂が頭を垂れる稔りの時期を迎えています。

心の片隅に台風の心配を抱きつつも、お米作りをする者にとっては、この時期の田圃の風情は、心惹かれる時期です。

ところで、毎年、7月下旬から8月始めにかけて、田圃への入水を止め田圃を乾かし、秋の収穫機械がスムーズに動き回れる準備を始めます。

田圃の中は、水があり水で泥が捌けるドロドロ状態なら歩けますが、入水を止めた後は、田圃が乾き切るまでは、泥がまつわるため田圃の中を歩くことは無理です。

そのため、7月末から8月20日過ぎまでの3週間余りは今年も草取り作業は中断でした。やっと田圃が乾き、足が泥にのめり込まなくなったので、草取りを再開したが、所々、ヒエや雑草まみれの場所もあります。

この時期の草取りは、手や鎌で摘み取るしか方法はありません。ほぼ完全に切り取るには、これから延べ300人余りの人手が必要のようです。

しかし、ゆっくりしておれば、ヒエは種を落としますから、時期までに草取りできるのは1/3程度の予想で、後は手が廻りません。

でも幸いにも今年は、収穫不能になるほど雑草が繁茂している場所はほとんどないので、見ともないですが、酷い場所を中心に作業を進めているところです。

初期除草の対応が少し甘かったようですが、でも、昨年は収穫不能の部分があちこち出たのですから、これに比べれば、今年は大いぶ改善できたようです。

**提携米 黒瀬農舎**

〒010-0445  
秋田県南秋田郡大湯村西1丁目4の7

**黒瀬 正・友基**

TEL:0185-45-3088 FAX:45-2887

E-mail: [akita@kurose.com](mailto:akita@kurose.com) Web: [提携米 黒瀬農舎](http://提携米 黒瀬農舎)

★定期購入の場合も、変更や前倒しの出荷、休止はいつでも対応いたします。

★お米のご贈答利用も宜しくお願いたします。

変更や休止は次のお米のお届けの5日ほど前までにご連絡下さい。

★電話は土日祝日も含めて朝8時～夜8時頃まで対応致します（自宅兼事務所）。但し、電話受付の専任スタッフはいないため作業中や外出などで留守番電話での対応となることがあります。ご了承願います。また、メールもぜひご利用下さい。なおメールは原則すべて返信していますので、返信メールが届かない際は自動的に迷惑メールとなっている可能性もあるので迷惑メールの確認やメールの設定をご確認下さい。

**猛暑の中、ヒマワリも奇麗に咲きました。また、猛暑の中でクズ集め。**



夏はヒマワリロードに変身の菜の花ロード 2020.8.12撮影

我が村自慢の「桜と菜の花ロード」は、毎年夏には「ヒマワリ・ロード」になります。

今年も、お盆の10日過ぎに満開を迎え、10キロメートル余りにわたって奇麗に咲きました。

菜の花は、咲き始めてから1ヶ月近くの長期間、花が咲き続けますが、ヒマワリは長くて10日程の命。

折角、種をまき、育てても、あつと言う間の楽しみで終わります。

その上、今年はコロナウイルス騒

動。折角咲いているのに訪れる人はまばらで、残念です。

コロナの早い終息を祈りながら、ヒマワリにスマホカメラの画面を叩きました。

猛暑来襲の最中・8月22日2トン車のレンタカーを借りて、富山県射水市まで走りました。

無農薬栽培用の除草機製作の材料集めです。

今年も雑草は多く残ったものの、昨年自作した乗用除草機はよく働いています。

しかし、無農薬の面積が多いので、1台では手が廻りきれません。

また、途中で故障することもあります。

今年も、エンジンが潰れて、乗せ換えに2日間口スしました。

この特製除草機のベースに使っているヤンマー農機社製の田植え機は半世紀前の機械。

軽くて沈みぬくいこと。前部に除草機がセットできること。4駆で、後ろ操舵で急旋回できること。などの条件を備えた使い勝手のよいベース車はいくら調べても、これに代わる機種が見当たりません。

そこで、この数年、ヤフオクや中古農機市場で探し続けていますが、製造打ち切りになって45年経た代物ですから、中々見つかりません。それが見つかったのです。奇跡的です。50年近く前の車なのに、腐りもなく程度は良さそう。

100万円出しても欲しい代物。ところが結果、たったの5万1千円で手に入りました。

こんなボロ機を探す人は珍しいのでしょうか。

そこで、600Kmの遠路引取りに富山まで走ったという訳です。

天気予報も猛暑予想でしたが、どうしたことか、この日の道中は曇りや小雨がパラッキ快適でした。でも先方について、積み込み用に機械の分解時は37℃の灼熱の下で汗だくでした。

結局この日は、850Km一気に走り、帰路の新潟からはフリーで秋田港に翌早朝着きました。

この冬に2台目の除草機に改造する計画。また、楽しみが増えました。



半世紀前の名機。ヤンマー6000AP。600Km離れた富山の三国人のクズ屋で発見。程度も良く感激でした。 2020.8.22撮影

**告**

年末のお餅やリンゴ、手作り味噌などの予約注文は  
10月中頃にメール便でご案内します。

☆10月20日を過ぎても案内が届かない場合は、配達ミスの恐れがあります。

**予約〆切：10月28日必着**

お手数ですがお電話などご一報をお願いします。